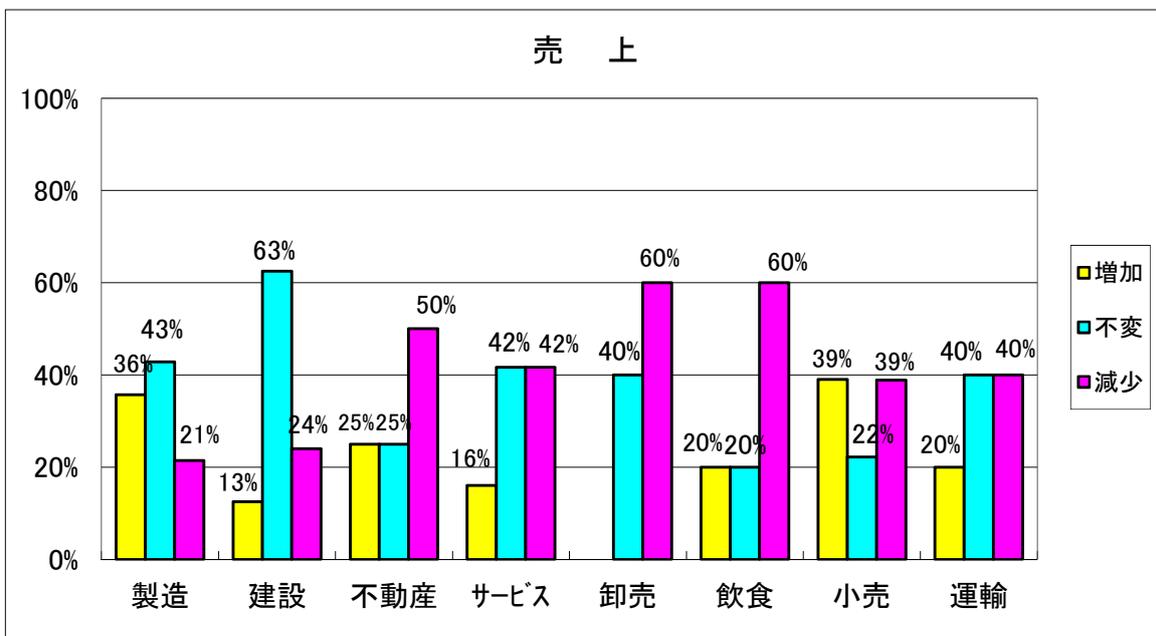


調査1 平成29年7月～12月の水準が、昨年同時期と比べてどのような推移をしているかを①売上 ②採算 ③仕入単価 ④従業員 ⑤業界の景気動向 ⑥資金繰り ⑦金融機関の融資状況の7項目について調査した。各項目について、業種別で集計したところ次のとおりとなった。なお、⑤業界の景気動向については過去の調査結果と平成29年下期の見通しについて比較表示してある。

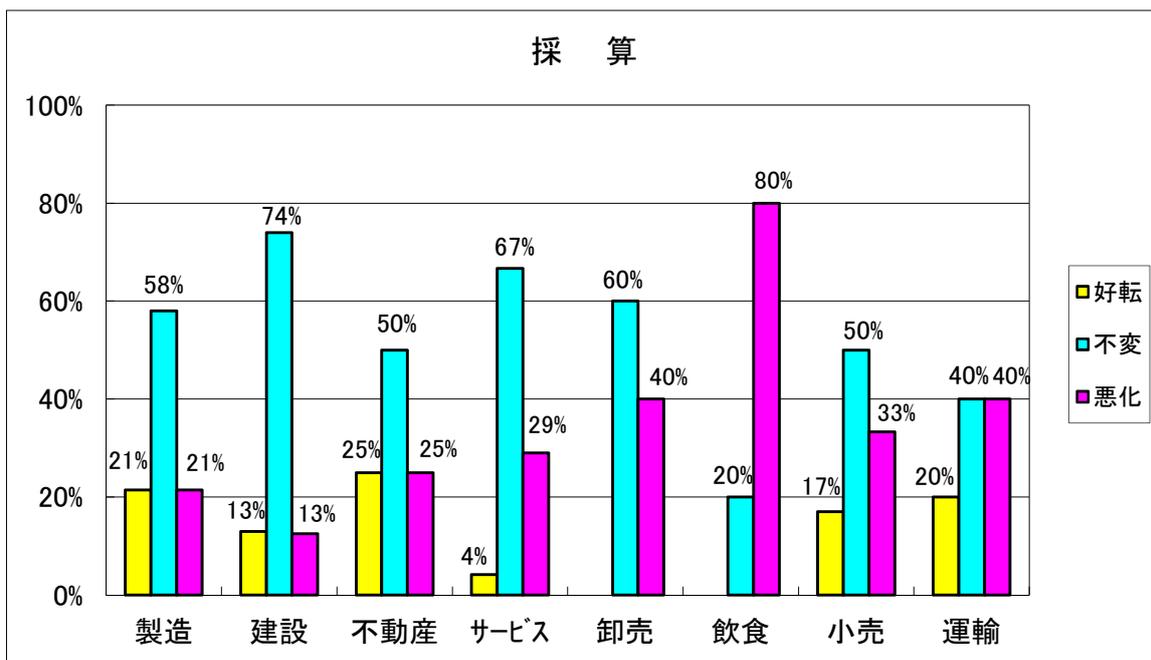
①売上について

全体的でみると昨年より「増加」が21%（前回28%）、「減少」は42%（前回38%）と、前回調査に比べると売上減少企業が多くなっている。その中で、売上「増加」が見られたのが製造業（36%）。一方、「減少」が顕著なのが卸売業、飲食業（ともに60%）であった。



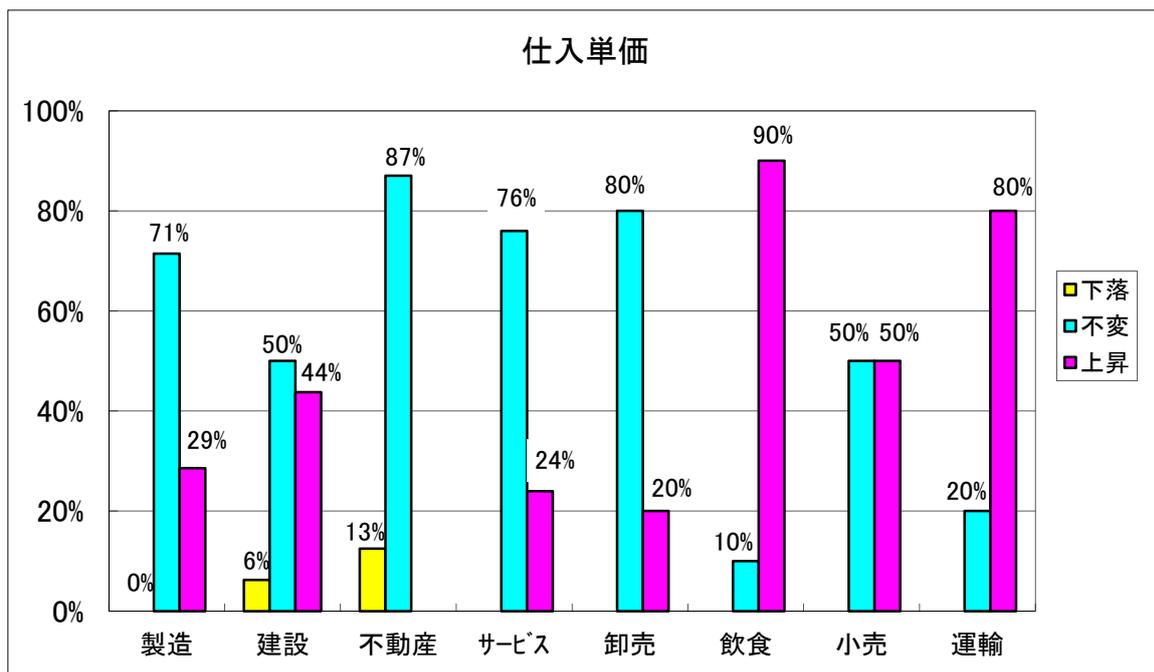
②採算について

全体でみると、「好転」13%（前回16%）、「不変」52%（前回55%）、「悪化」35%（前回29%）であった。業種では飲食業（80%）、卸売業、運輸業（40%）が「悪化」している。



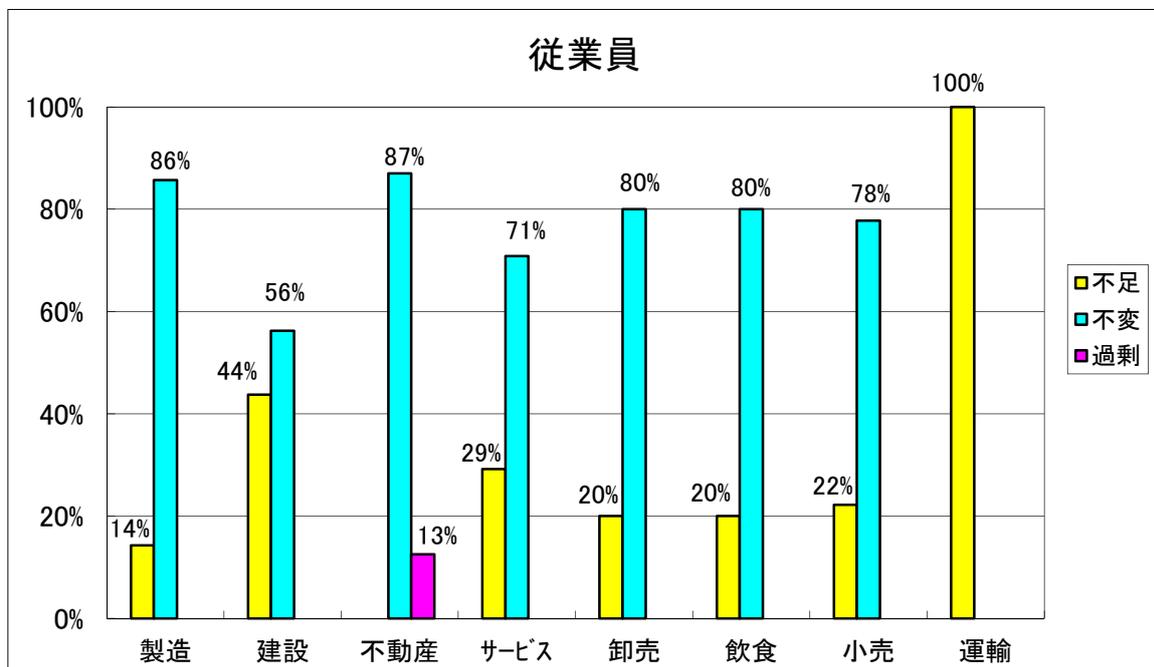
③仕入単価について

「上昇」が顕著なのが、飲食業90%（前回78%）、運輸業80%（前回60%）と前回に比べても上昇が激しい状況となっている。

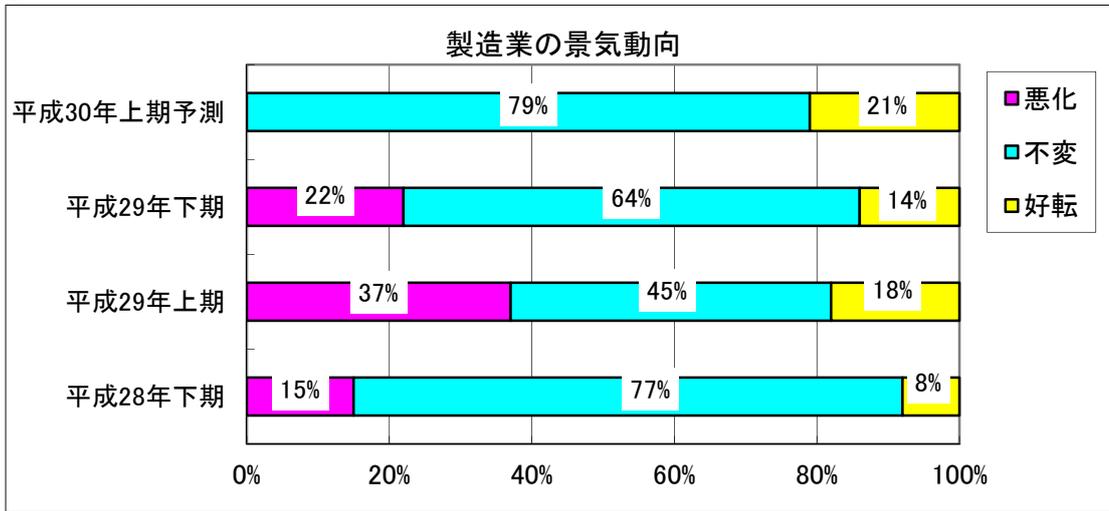


④従業員について

「不足」が顕著なのが、運輸業100%（前回60%）建設業44%（前回31%）で人手不足が深刻な状況である。

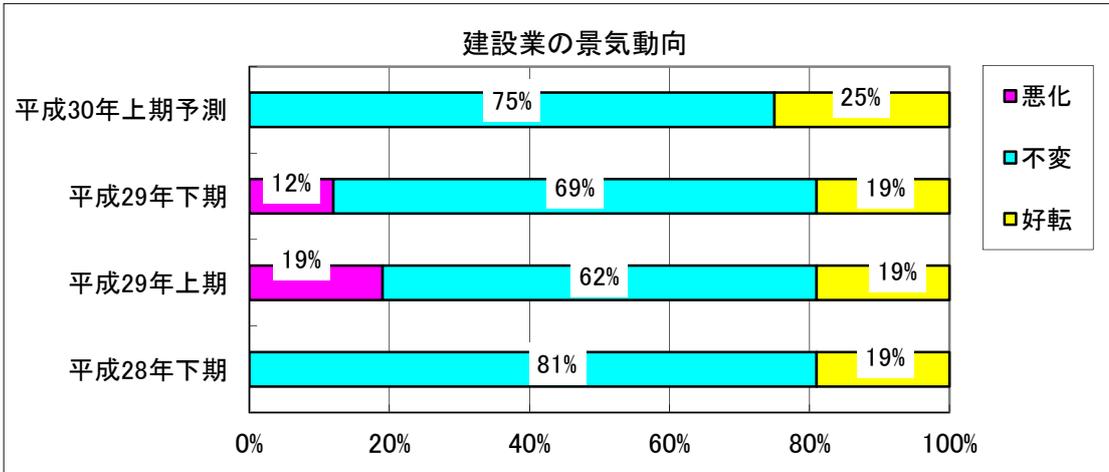


⑤業界の景気動向について



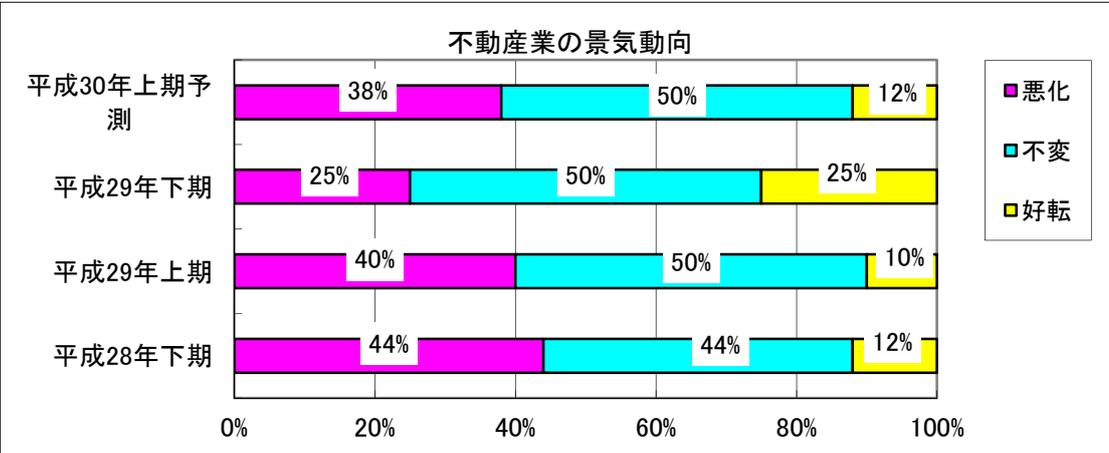
■製造業

平成29年下期では、「好転」が14%で「悪化」が22%と悪化傾向が強いが、平成30年上期の見通しは「好転」が21%、「不変」が79%で「悪化」との見通しが無く、明るい兆候がみられた。



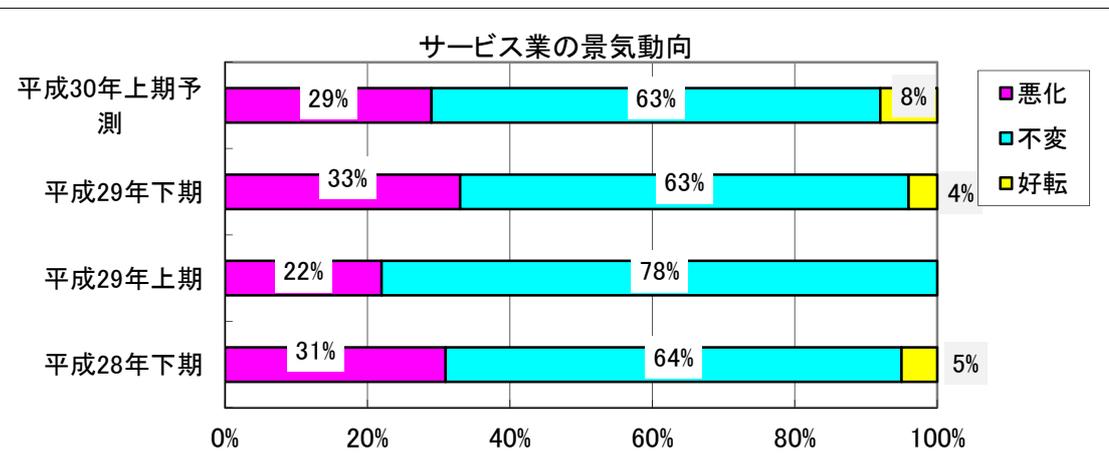
■建設業

平成29年下期は、「好転」が19%、「悪化」が12%であった。若干ではあるが好転している。平成30年上期では「悪化」の見通しが無く、「好転」が25%と見通しが明るくなっている。



■不動産業

平成29年下期は、「好転」と「悪化」が共に25%で前回と比べると改善されているように見える。平成30年上期の見通しでは、「悪化」の38%と増加し、「好転」が12%へと減少し厳しい見通しである。

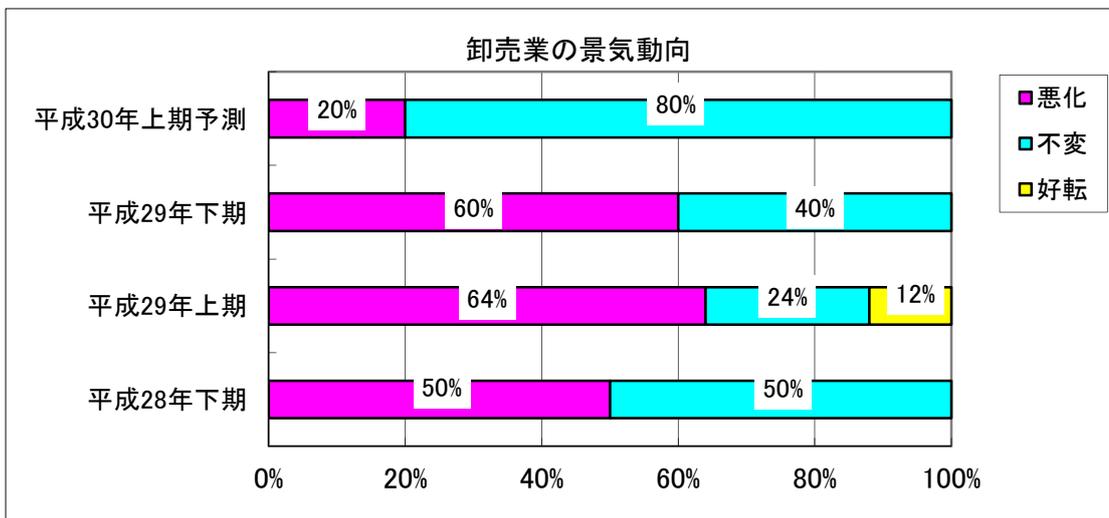


■サービス業

平成29年下期では、「悪化」が33%と前回よりも増加している。「好転」も4%となった。平成30年上期では「好転」が8%と若干改善の見通しが見受けられるが「悪化」が29%と依然として厳しい状況である。

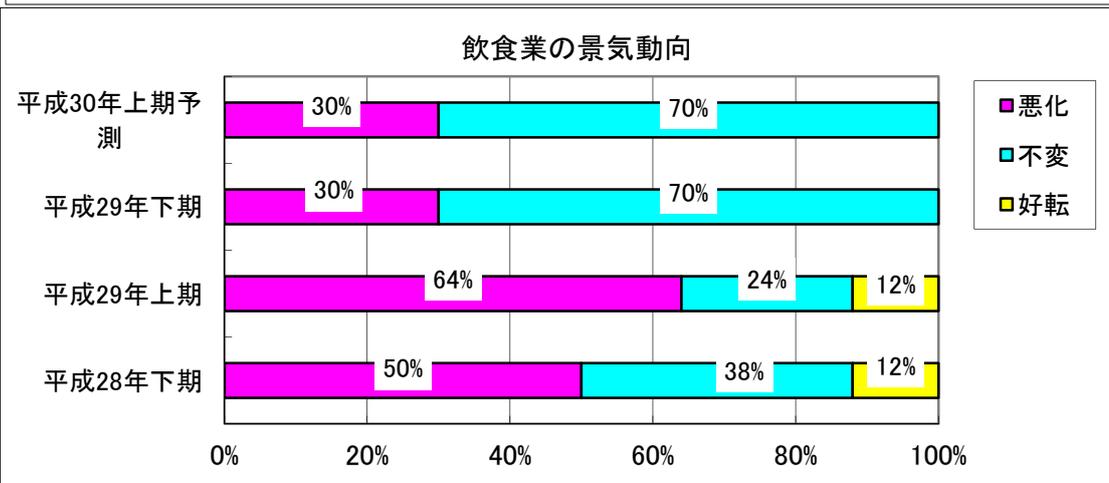
■卸売業

平成29年下期は「好転」が無く、「悪化」が60%と非常に厳しい景況感である。平成30年上期では、依然として「好転」の見通しが無く景況感は厳しい状況である。



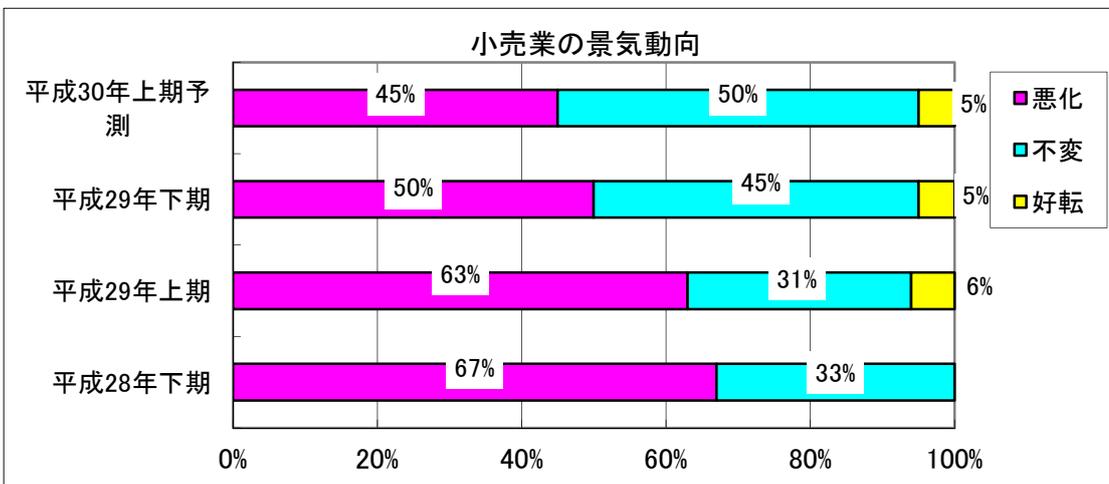
■飲食業

平成29年下期では「悪化」が30%と前回に比べると悪化傾向は減少しているものの「好転」はない。平成30年上期も「悪化」30%、「不変」が70%と好転の兆しは見えない。



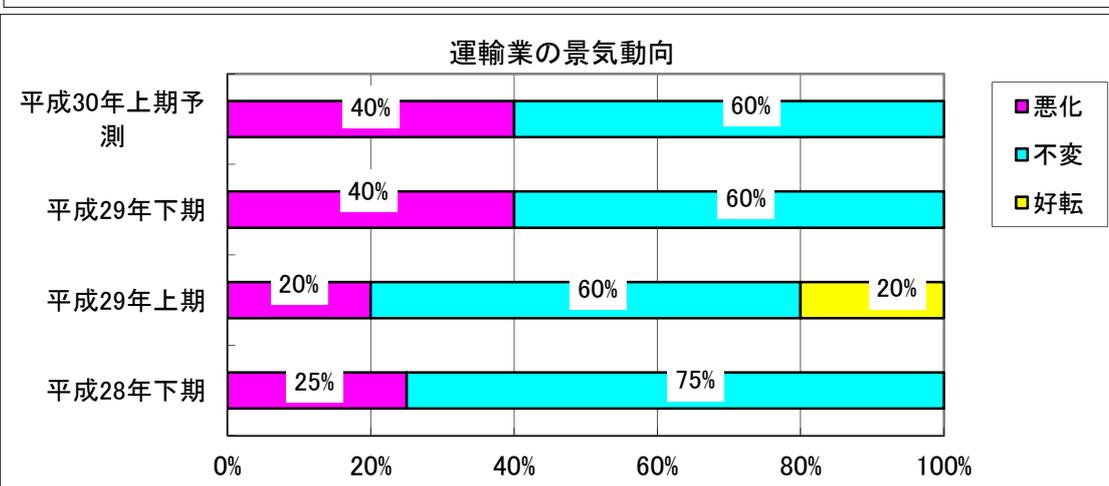
■小売業

平成29年下期は、「悪化」が50%と半数の企業がかなり厳しい状況にある。平成30年上期の見通しは「悪化」が45%、「不変」が50%となっている。



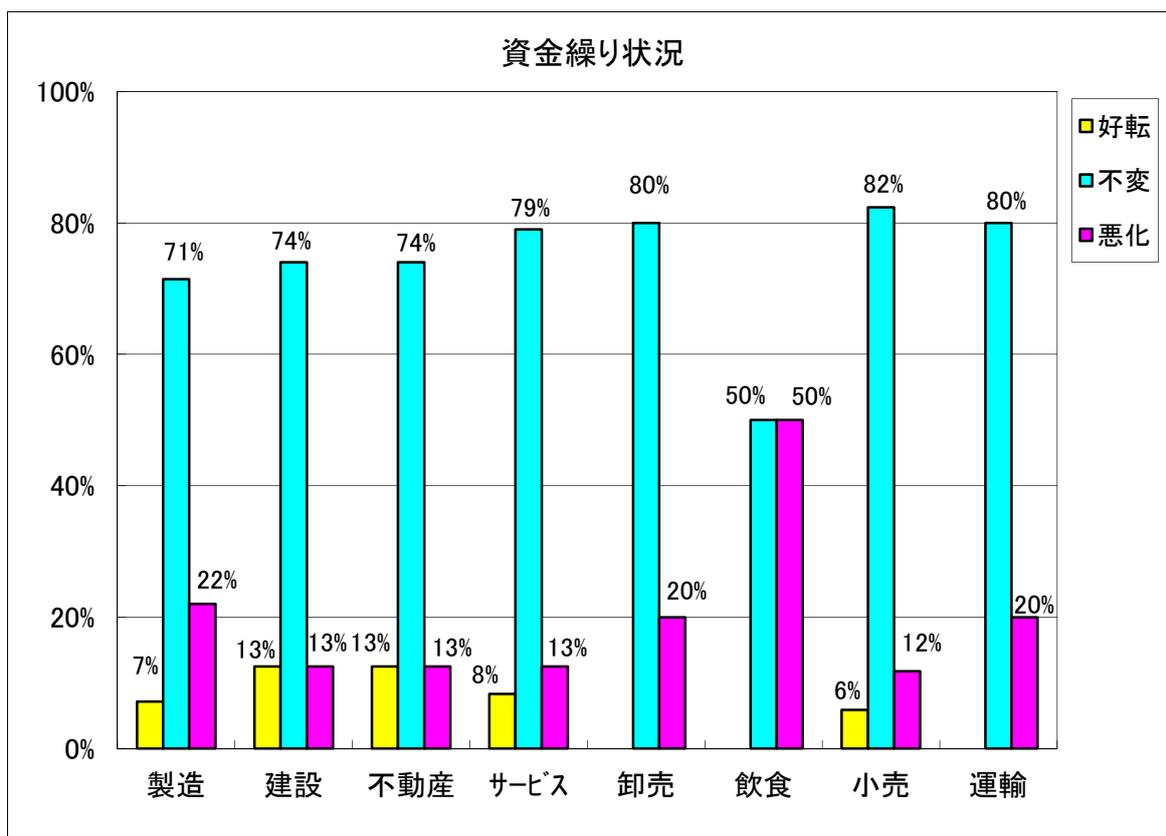
■運輸業

平成29年下期は、「好転」が40%と「不変」が60%で「好転」が無い。平成30年上期も「好転」の見通しもなく厳しい状況である。



⑥資金繰りについて

全体で見ると「不変」が74%（前回72%）、「悪化」が20%（前回18%）、「好転」が6%（前回10%）と回答している。業種では、飲食業の資金繰りが悪化傾向がある。



⑦金融機関の融資状況について

全体的にみると「不変」が47%（前回59%）、「融資無し」が27%（前回27%）、「厳しい」が9%（前回5%）、「緩やか」が17%（前回14%）であった。融資状況については概ね変わりはなかった。

